

指紋・ICカードリーダーを使った個人認証  
アクセスコントロール

---

特許申請中



ベリテック・アイコンクス・ベンチャーズ 株式会社  
Veritec Iconix Ventures Inc.

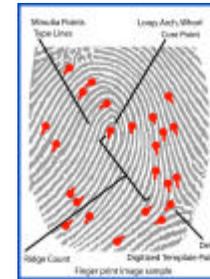
<http://www.vi-vi.com>



## 概要

### バイオメトリックスを使った指紋認証システム(特許申請中)

従来の本人認証の為に使われてきたパスワード等によって、バイオメトリックス(生体情報)の中から**指紋**を利用した認証装置で、2次元コードを用い装置自体に指紋データを登録すること無く、2次元コードと指紋により認証を行います。



指紋パターンを2次元コード(VSコード)に変換します。

指紋認証システムといっても従来は予めサーバ等に個人の指紋情報を登録しておき、本人が指紋センサーに指を押し当てた際に登録されている情報と照合させる形が多く、これは個人の指紋情報を他人に渡すことに対するプライバシー問題等、社会的には抵抗感があつたことは否めません。

またこの問題をクリアするためにICカードに指紋情報を記憶させる形もありますが、ICカードのコストが高く、広く普及させるための妨げとなっていました。

VSコードは、紙やプラスチック等のカード又はシールに印刷できるため安価です。また、カスタマイズ機能を使用すると、ユニークコードとなり、特定のソフトウェアでないと読み取りできない高いセキュリティ性を実現しました。



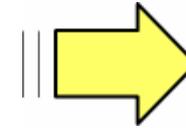
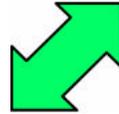


## 従来の指紋認証

予めサーバ等に指紋情報を登録しておき、本人が指紋センサーに指を押し当てた際に登録されている情報と照合させる



- 高品位なサーバが必要
- 個人情報漏洩の心配
- 認証速度が遅い

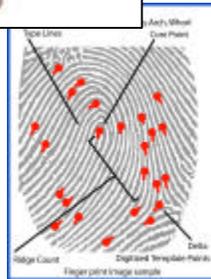


**認証確認**

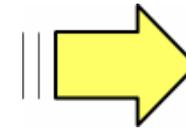
## 2次元コードを使った指紋認証



+



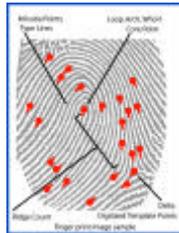
- サーバが不要
- 個人情報漏洩の心配なし
- ローカルでの認証なので速度が速い



**認証確認**

## 個人認証カードの作成

指紋センサーで読み取った  
指紋パターン



個人情報  
(氏名 住所 性別  
等)



カードは市販のプリンターで簡単に印刷できます。



指紋データと個人情報のデータを2次元コード化し、カードに印刷します。  
(この時点でカード作成装置には指紋データ及び個人データは残りません。)

## 認証



市販の指紋センサーを使用することができます。



認証確認!

まずIDカードを認証装置に挿入します。次に指を指紋センサーにタッチすることでIDカードの2次元コードデータと指紋を照合し、本人認証を行います。



照合方式	: マニューシャ方式 (特徴点抽出法)
特徴抽出速度	: 0.22秒以下/指(Pentium4 2GHz)
照合速度	: 0.22秒以下/指(Pentium4 2GHz)
本人拒否率	: 0.0064%
他人許容率	: 0.001%





# ソリューションのご提案

## 1. PCログオン・セキュリティ

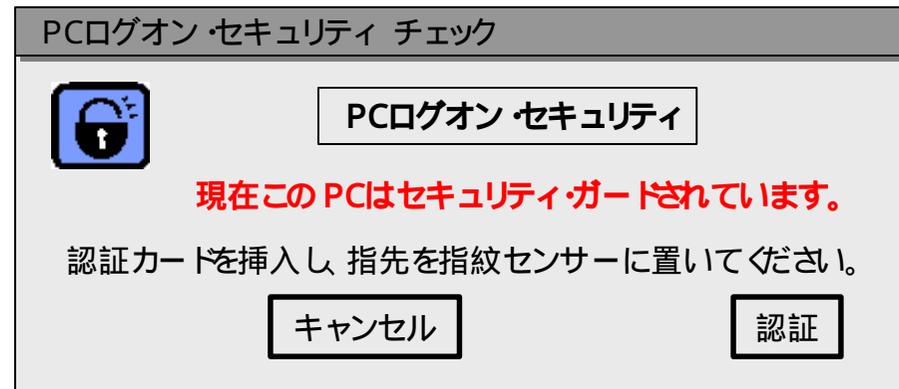
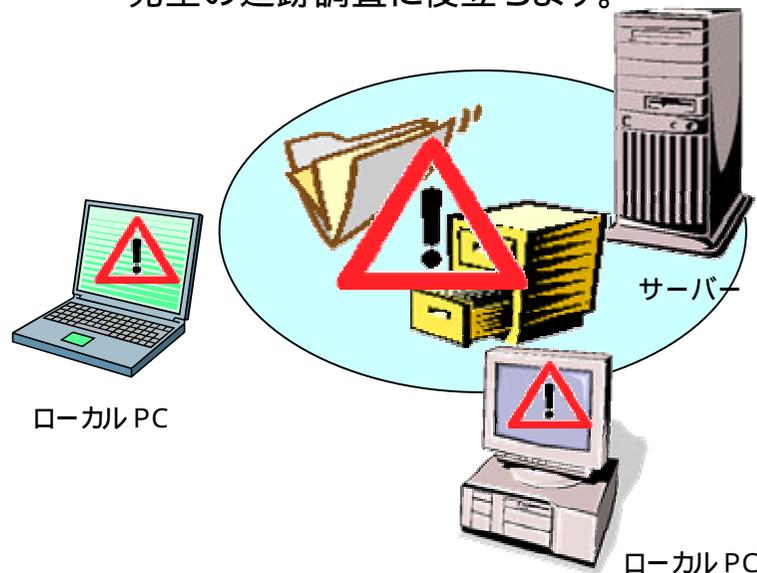
顧客情報の流出問題などで代表される様に企業内での情報管理においては、社内情報の管理、徹底は不可欠です。

ID・パスワードの入力だけでは、IDとパスワードがわかれば誰でも情報をひきだすことができます。

このPCログオン・セキュリティはその名前の通り、パソコンでのログオン管理を主として、PCのロック、サーバーやファイルの監視、フォルダやファイル単位でのロック機能を持ち、関係者以外の不正使用や情報の流出を防ぎます。

また、このPCログオンセキュリティは、2次元コード化された認証カードを指紋と照合することにより認証を行います。予め指紋の登録やサーバーを必要とせず、ローカルPC上で生体情報のセキュリティチェックができるのが最大の特徴です。

PCやファイルのアクセスログを記録することで、何時、誰が、どのファイルを操作したかがわかり、問題発生時の追跡調査に役立ちます。





# ソリューションのご提案

## 2.セキュリティ施設での入退室管理

機密データを取り扱う施設や社内の情報管理部署、医療機関施設などのゲートキーパーと連携して、指紋と認証カードにより認証を行います。

指紋により個人認証を行い、入退室の履歴管理を行うことで、防犯効果を高めることができます。

またこの場合も予め指紋を登録するサーバーを必要せず、ローカルPC上で生体情報のセキュリティチェックができるのが最大の特徴です。

